

■自然保護・生物多様性保全

	事業者コード	環境寄附対象団体名称
1	K045	アースウォッチ・ジャパン
2	K046	ジャパンワイルドライフセンター
3	K047	生態工房
4	K048	日本ガラパゴスの会
5	K049	日本生態系協会
6	K050	富士山クラブ
7	K053	グラウンドワーク三島
8	K054	守山リス研究会
9	K055	大阪自然環境保全協会
10	K057	アマモ種子バンク
11	K060	四国自然史科学研究センター
12	K198	サロベツ・エコ・ネットワーク
13	K199	川島ネイチャークラブ
14	K200	エコロジー夢企画
15	K201	森林塾青水
16	K202	ねっとわーく福島潟
17	K203	信越トレイルクラブ
18	K204	おおいた環境保全フォーラム
19	K205	西表島エコツーリズム協会
20	K230	自然環境復元協会
21	K231	日本鳥類保護連盟
22	K250	エバーラスティング・ネイチャー

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K045	団体名	アースウォッチ・ジャパン
連絡先 (電話/メール)	03-6680-0300	活動ホームページ (URL)	http://www.earthwatch.jp/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	生物多様性の保全に関する調査・研究の支援		
寄附額合計	¥25,458		
平成27年度			
事業報告	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・(概要)当団体では一般市民が研究者の野外調査に協力することで、時間や人手を要する野外研究を支援し、日常生活や環境問題について考え直すきっかけを作っています。</p> <p>・(使途)固有種のニホンイシガメ調査を実施し、研究者と参加者の調査地内移動費用、研究者宿泊費、現地調査費用、研究者謝金に全寄附額の25,458円を使用しました。これにより参加しやすい研究分担金が設定でき、多人数によるデータ収集を行うことができました。</p> <p>・(効果)固有種のニホンイシガメ調査は、参加者15名が115個体を捕獲し、これにより個体数の推移、河川構造物による生息地分断化の影響、哺乳類による被害の現状などを裏付ける科学的データが得られました。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K046	団体名	ジャパンワイルドライフセンター
連絡先 (電話/メール)	042-710-5590/info@jwc-web.org	活動ホームページ (URL)	http://www.jwc-web.org/top.html
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	ケニア共和国マサイマラ地域給水プロジェクト		
寄附額合計	¥19,158		
平成27年度			
事業報告	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>【概要】当団体では、2008年よりマサイマラ地域の給水プロジェクトを計画し、2010年9月には雨季の雨水を長期利用するため野生動物保護管理施設の屋根を利用して雨水利用システムを取り付け、2012年には井戸を掘り、水を汲み上げる電力をまかなう為に太陽光発電システムを設置し、汲み上げた水を一時的に保管するための貯水タンクを設置(水量センサー付き)しました。今回は、井戸水を汲み上げる電力システムに異常が生じたため、部品を交換しました。</p> <p>【使途】いただきましたご寄附¥19,158全額と当団体の資金を合わせまして平成28年8月に電気系統の資材購入に使わせていただきました。</p> <p>【効果】井戸水が汲み上げられるようになったので、地域住民約4000人や家畜、野生動物たちが安全に水を手に入れられるようになり、人と野生動物の摩擦問題の軽減に多いに貢献できたと確信しています。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K047	団体名	生態工房
連絡先 (電話/メール)	eco@eco-works.gr.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.eco-works.gr.jp
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	都立公園・緑地の環境再生、カメ等の水生生物の保全および普及・環境教育		
寄附額合計	¥14,458		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 井の頭恩賜公園、神奈川県立三ツ池公園、町田市立薬師池公園等9ヶ所の都市公園等にて、在来水生生物の保全を目的とするかいぼりを中心とした調査活動と市民対象の外来種生物問題普及活動を、平成27年5月から平成28年4月の間に累計105日間実施しました。</p> <p>(使途) ご寄附頂いた14,458円と当会の資金を合わせ、作業で使用するゴム手袋などの消耗品、胴長靴と胴長靴の修理用品を購入しました。</p> <p>(効果) 調査活動は延べ約20日、普及啓発活動は累計120回超実施しました。活動では約370名のボランティアが参加し、購入品を活用して安全に活動することができました。前年度以前と比べ、かいぼりを実施する池が大幅に増加し、かいぼりの意義や効果を多くの市民に広めることができました。調査と普及啓発を同時に実施することで、より多くの市民に外来生物問題について関心を持ってもらい正しい知識を普及することができました。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K048	団体名	日本ガラパゴスの会
連絡先 (電話/メール)	03-6868-3053/info@j-galapagos.org	活動ホームページ (URL)	http://www.j-galapagos.org/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	プロジェクト・フロレアナ(ガラパゴス諸島)		
寄附額合計	¥16,458		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>【概要】島全体を保全するこの事業では、居住区における生態系回復と、絶滅危惧種の再導入に向け、外来種に侵略された植生の再生に取り組みました。スタッフおよびボランティア6名が毎月(年12回)渡航し、延30日間島に滞在し、66種の在来種、固有種、農作物種、計4,414苗を植えました。</p> <p>【使途】皆様からの寄附と当会資金を合わせ、苗を生育させる種苗場の管理(植木のポット、ホース、ポットの棚、ネットなどの器具の購入、種苗施設の改修)に使用しました。苗は、昨年と同じゴミ埋立地、共同墓地、元鉱山の他、耕作放棄地での植林と、環境教育のためのモデルガーデンの造成に使われました。</p> <p>【効果】植林場所では、ゴミや外来植物が除去され、本来の生態系を構成していた在来種・固有種が大きく生育しています。周囲の農家や地元学校の協力を得て行った耕作放棄地や校庭での植林によって、島民の保全意識の向上にも貢献しました。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K049	団体名	日本生態系協会
連絡先 (電話/メール)	03-5951-0244/y_sayama@ecosys.or.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.ecosys.or.jp/join/contribution/use.html
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	自然と共存した社会づくりに向けた普及事業		
寄附額合計	¥14,458		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当協会は、会員向けに2カ月に1度、会報『エコシステム』を発行しています。この会報では、国内外の最新情報を交えた新しい社会のあり方についての提言や、前号発行日以降における協会の具体的活動の報告などを掲載しています。この会報を、社会に影響のある人々に配布するものです。</p> <p>(使途) 上記の編集内容から、私たちは社会に影響のある行政職員、国会及び地方議会議員、報道関係者等に会報を無料配布しました。寄附金(金額)は配布分の印刷代(1冊あたり100円、発行号NO.141～144分約7,900冊増刷)と送料にあてました。</p> <p>(効果) 昨年より、国土交通省による『エコロジカルネットワーク』に対する取組が活発化し、持続可能な社会づくりに向け、配布先からのお問い合わせも多く、生物多様性を保全し、自然と共存した美しくにづくり不可欠な考え方を、普及することに役立ったと考えます。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K050	団体名	富士山クラブ
連絡先 (電話/メール)	h-ooi@fujisan.or.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.fujisan.or.jp
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	富士山の自然環境保護・保全・再生活動のうちの「富士山の森林保全・再生」		
寄附額合計	¥47,758		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 高度経済成長以降、輸入材や石油製品の流通によって、国産竹材の需要が減少しました。これらを起因に、担い手不足等も影響し、放置竹林が全国で広がっています。富士山では、静岡県側に放置竹林が多く、森林荒廃の一因となっています。当法人では、富士山麓の竹林再生に取り組んでいますが、伐採した竹の利用が課題となっています。</p> <p>(使途) この度、ご寄附いただいた47,758円で、竹を加工するための、電動鋸と鎌を購入しました。伐採した竹は、敷地内で処理することとしています。伐採本数が増えるにつれ、集積場所の確保が困難となりました。</p> <p>(効果) 当法人では、国産竹材利用を目的に、これを活用して、流しそうめんや、竹を使った遊びをイベントで実施しました。また、年末には、地元や都内で延べ100人を超えるみなさんと門松作りを実施しました。放置竹林の問題や、国産材の利用について広く啓発することができました。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K053	団体名	グラウンドワーク三島
連絡先 (電話/メール)	055-983-0136/info@gwmishima.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.gwmishima.jp/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	ふるさとの森を守れ・松毛川河畔林環境再生活動		
寄附額合計	¥28,858		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)松毛川は、三島市と沼津市の境界に位置する狩野川の旧河川敷で、約6haの三日月形の止水域です。両岸には、樹齢100年以上の多数の巨木からなる河畔林が、「森の自然堤防」を形成しており、防災・治水・自然環境・歴史的にも重要な場所です。しかし近年、土砂の堆積によって治水機能が低下し、自然堤防の浸食・崩壊等による河畔林の倒木が進み、「ふるさとの川と森」が消滅の危機にさらされています。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた28,858円でゴミ袋、軍手、竹挽鋸等を購入し、竹林伐採・環境整備・植樹活動(計19回、延べ342名参加)で活用させていただきました。</p> <p>(効果)右岸に加え、左岸の放置竹林の伐採・整備と、潜在自然植生の苗木550本の植樹を行い、自然護岸の造成を着実に進めることができました。今後も地域の皆様と共に竹林伐採・植樹等を行いながら、「千年の森」づくりに継続して取り組んでいきます。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K054	団体名	守山リス研究会
連絡先 (電話/メール)	052-795-2616/risuken@kzc.biglobe.ne.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.asahi-net.or.jp/~fb4m-iszk/risuken
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	野生のニホンリス保全活動をする中で環境教育を実践する		
寄附額合計	¥14,458		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、1990年から名古屋市に生息する野生のニホンリス、ムササビ他動物の生息地、リス捕獲調査・保全活動を実施しています。2015年には会員に加え南山短大学生5人のボランティア長期インターン単位研修、2016年には名城大学学生二人の卒論調査を協働活動してきました。リスの行動を調査するために発信機を購入し巣の位置・行動を調査していますが、1個2万円以上ですが、各年予算を組み5個購入しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた14,458円は、当会の資金と合わせて2015年の発信機5個購入に使われました。</p> <p>(効果)生息地の保全のためにリスの巣位置・行動を掴む事ができ、「その周辺の間伐停止依頼、巣材に使われる枯死ヒノキの撤去を中止」してもらうなど生息地の種々の要素が崩れないようにできました。今後も毎年こういったテレメ調査を継続して、生息地のミクロな条件を保全して行きたいと考えます。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K055	団体名	大阪自然環境保全協会
連絡先 (電話/メール)	06-6242-8720/office@nature.or.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.nature.or.jp
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	生物多様性の保護・保全の推進		
寄附額合計	¥20,458		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・(概要)当協会では、継続して「生物多様性保全の取り組み」を推進しており、「里山の生物多様性保全と資源活用・農と地域支援・自然環境学習」の活動を行ってきました。場所はこれまで同様、枚方市尊延寺・縄文谷などの里山約1.5haです。多くの里山は有効に活用されず開発が続いており、自然環境を活かした農事の支援をしながら、「里山生物多様性里山保全・農ごよみ」冊子を作成させていただきました。これらにより、里山の放棄を回避する保全活動・農事支援・環境学習・・・という3つの狙いの活動を今年も進めることができました。いただきましたご寄附は「農ごよみ」冊子5000冊の印刷費に充当させていただきますました。誠にありがとうございました。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K057	団体名	アマモ種子バンク
連絡先 (電話/メール)	0798-42-3884	活動ホームページ (URL)	http://www.amamobank.sakura.ne.jp/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	「なぎさ海道」アマモ場再生プロジェクト		
寄附額合計	¥15,258		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>兵庫県下の自生アマモ場(赤穂市唐船海岸、姫路市白浜海岸、明石市江井ヶ島海岸)でアマモ種子を採取し、養生・選別・保存しておき、播磨灘、大阪湾で種子からポット苗を育成し、移植するアマモ場再生活動を継続して行っている団体に融通する活動に使用させて頂いた。融通した団体は、相生湾(相生湾(相生湾自然学習会議、那波小学校、相生小学校)、姫路市白浜海岸(白浜小学校)、大阪湾(環境教育技術振興会、西鳥取小学校)などで、小学3年生児童の環境体験学習として用いています。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K060	団体名	四国自然史科学研究センター
連絡先 (電話/メール)	0889-40-0840/sion@lutra.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.lutra.jp/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	四国ツキノワグマ保護プロジェクト		
寄附額合計	¥16,358		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・(概要)当センターでは、2002年から四国で絶滅に瀕しているツキノワグマの生態調査を実施し、それまで不明であった四国のツキノワグマの生態を多く解明してきました。また、その結果を用いて政策提言なども行っています。これまで多くの成果が得られていますが、毎年の活動費を確保するのは困難です。</p> <p>・(使用)ご寄附いただいた16358円は、当センターの資金と合わせてツキノワグマの分布調査における消耗品に使用しました。そのおかげで、ツキノワグマを1頭撮影することができました。なお、繰越金190,629円は「横浪半島生物総合学術調査報告書」の印刷に使用します(平成29年6月発行予定)。</p> <p>・(効果)ツキノワグマを撮影することができたことにより、四国のツキノワグマの分布をより詳細に把握することができました。今後も調査を継続し、四国のツキノワグマを絶滅から救えればと考えています。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K198	団体名	サロベツ・エコ・ネットワーク
連絡先 (電話/メール)	0162-82-3950/info@sarobetsu.or.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.sarobetsu.or.jp
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	サロベツの大地とあなたをむすぶプロジェクト		
寄附額合計	¥17,858		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・(概要)利尻礼文サロベツ国立公園の玄関口・サロベツ原野では、地域の子どもたち20名以上が参加し、春は渡り鳥の観察、夏はキャンプ、秋は森の植樹活動、冬はスノーシューなど様々な自然体験活動を通じて、人・地域・自然を愛する豊かな心を養い、次世代の環境リーダーを育成しています。</p> <p>・(使用)いただいたご寄附(¥17,858)は、キャンプに必要な寝袋とマットの購入費として使わせていただきました。メンバーが年々増える一方、備品が老朽化したり、不足しており、ご寄附いただけて大変助かりました。</p> <p>・(効果)新品の寝袋やマットにより、キャンプに参加した子ども達が安全・快適に、雄大な自然に触れ、サロベツの夏を満喫し、仲間と共に成長することができました。皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K199	団体名	川島ネイチャークラブ
連絡先 (電話/メール)	049-297-0541/akio-oomori@nifty.com	活動ホームページ (URL)	http://kawajimanc.eco.coocan.jp/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	自然環境調査保全事業		
寄附額合計	¥15,458		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人では、自然環境情報の収集と提供のためにホームページでの情報発信をおこなっております。今期の環境寄附金は、当ホームページの維持管理費(契約料、通信費等)の一部に全額充当させて頂きました。ホームページは、事務局で運用しておりますが、最近新しいメニューとして「趣味のページ」をつくりました(トップページメニューに記載)。これは、会員と地域住民との情報交換等による活性化を期待したものです。「趣味のページ」は、地元自治会との新しい接点にもつながりました。ご寄附を頂いた皆様に御礼申し上げます。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K200	団体名	エコロジー夢企画
連絡先 (電話/メール)	info@ecoyume.net	活動ホームページ (URL)	http://www.ecoyume.net
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	エコ夢探検隊と綾瀬川の生き物をしらべよう!		
寄附額合計	¥14,458		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>【概要】エコ夢探検隊「Eボートで綾瀬川へいこう!」を28年10月15日(土)10:30~17:30に実施。足立区や八潮市から、計73名の参加があった。 【使途】ご寄附頂いた14,458円は、イベントのチラシ印刷代、9690円、昆虫採集用の観察箱1,296円、魚観察ケース1,200円、インクジェット6,739円に一部に充てさせて頂きました。 【効果】Eボートで綾瀬川をのぼったところ、明治の頃の玉石積護岸が300メートルくらいあるのがみつき、思わぬ発見に皆喜んでいました。参加していた足立区立第13中学校で、地域との連携を生み出すEボートを使った授業をおこなってみたいとの要望があり、29年度に実施することになった。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K201	団体名	森林塾青水
連絡先 (電話/メール)	090-1764-9868/asakawa@comdesign.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.commonf.net/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	草原の持続的な管理・利用		
寄附額合計	¥15,458		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、みなかみ町藤原上ノ原のかつて入会地だった、草原と二次林21haの管理を、野焼きや茅刈り、伐採、防火帯づくりなどの作業を年6回行っています。草原部分は、野焼き、茅刈り、除伐などで人の手が入ることで、草原が維持されています。草原は昆虫や草花が多く、毎年生物調査を専門家にボランティアで実施してもらっています。</p> <p>(使徒)今回の省エネ住宅ポイント15458円は、草原の茅(ススキ)の買い上げ価格の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)茅(ススキ)の生育もよくなり、地元古老による茅刈りの数量は773ポッチ3865束、ボランティア(麗澤中学生含む)茅刈りの数量は123ポッチ615束、合わせて898ポッチ 4490束を刈り取ることができました。今年度は麗澤中学1年生による茅刈り体験もあり、都会の子供達にも茅場(草原)の大切さを知ってもらうことができました。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K202	団体名	ねっとわーく福島潟
連絡先 (電話/メール)	fukusimagata@ybb.ne.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.geocities.jp/fukusimagata/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	生き物豊かな福島潟の保全再生・普及活動		
寄附額合計	¥50,494		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)福島潟は「オオヒシクイ」越冬数が日本一の飛来地です。食草である「マコモ」は近年減少の一途をたどっています。その「マコモ」を潟内に移植し少しでも減少にストップをかけられないか、自然保護の啓蒙・認知につなげばとの目的で、毎年植栽作業を行っています。</p> <p>10月中旬から2月末まで毎週日曜日にエリア別に「オオヒシクイ」の確認数や越冬行動調査も行っています。</p> <p>(使徒)「マコモの植栽」では採取した苗を潟中央部まで運ぶ搬送費及び「オオヒシクイ越冬行動調査」の車両を参加会員から出してもらっており、そのガソリン代として50,494円のご寄附を使わせていただきました。</p> <p>(効果)「マコモの植栽」参加者59名。そのうち大学生、自然系専門学校生、高校生の若い人たちが25名と多数参加していただき、これからの活動の広がりに期待が持てました。また、「オオヒシクイ越冬行動調査」も12回23名の参加をいただきました。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K203	団体名	信越トレイルクラブ
連絡先 (電話/メール)	office@s-trail.net	活動ホームページ (URL)	http://www.s-trail.net/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	関田山脈周辺の生物多様性保全に向けた活動		
寄附額合計	¥14,658		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・(概要)長野・新潟の県境にあるロングトレイルを、両県が連携し整備を行っていますが、平成28年度は当法人担当区間を66日間のべ243名(ボランティアを含む)にて整備、自然環境調査を2日間20名にて行い、トレイルの維持管理に務め、多くの方にトレッキングをお楽しみ頂きました。しかし整備作業時の傷害保険代が不足していました。</p> <p>・(使途)この度ご寄附頂いた14,658円と当法人の資金を合わせ、整備作業時の傷害保険代に使用させて頂きました。</p> <p>・(効果)広範囲にわたる整備区間を安心して整備することができ、安全で楽しいトレッキングの普及につながりました。今後も自然環境を守りながら、次世代へ続くトレイルづくりを目指して活動を行って参ります。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K204	団体名	おおいた環境保全フォーラム
連絡先 (電話/メール)	097-529-5046/kei_hi.uchida@yellow.plala.or.jp	活動ホームページ (URL)	http://www9.plala.or.jp/kei_uchida/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	森と海を結ぶ豊かな生態系創生事業		
寄附額合計	¥22,358		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>◇(事業概要)私たちはNPOは、人と自然が共生した地域づくりのため里山里海の生物多様性と生態系の保全を目標に活動しています。平成28年度は、特に里海環境の生態系の保全をテーマとして子供を対象に体験型環境教室を6回開催しました。</p> <p>◇(使途)27年9月から28年4月までの寄附金22,358円は、環境教育プログラムにおいて使用する環境啓発パネル(5枚×4,800=24,000)の製作費用の一部として活用させて頂きました。</p> <p>◇(成果)平成28年6月にオープンした環境教育施設「人と自然のミュージアム」において環境教育/自然体験プログラムを夏休みを中心に11月までに6回実施し合計375人の子供たちが参加しました。これまでの省エネ住宅ポイント環境寄附金で購入した環境教育機材用具等は、今後は当NPOが運営する「はざこネイチャーセンター」で、多くの子供たちが参加する環境教育プログラムで有効に活用されます。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K205	団体名	西表島エコツーリズム協会
連絡先 (電話/メール)	0980-85-6331/h-tokuoka@iriomote-ea.com	活動ホームページ (URL)	http://iriomote-ea.com/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	サンゴ礁保全モニタリング調査リーフチェックの推進		
寄附額合計	¥33,698		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、竹富町ダイビング組合と共同で、サンゴ礁の状態をモニタリングするリーフチェックを西表島で継続的に実施しています。また、近年大発生しているサンゴを食害するオニヒトデの駆除作業にも協力しています。</p> <p>(用途)今回の寄附33,698円に、当法人の資金を合わせまして、平成28年6月にオニヒトデ駆除作業に必要な機材(注射器、酢酸)を50,000円分購入しました。オニヒトデは一箇所駆除しても、また別の箇所が発生するというように、終息が見えないため、サンゴ礁を守るためには地道に駆除作業を継続するしか方法はありません。</p> <p>(効果)オニヒトデ駆除作業には、消耗品である機材が必要不可欠であるため、ご寄附によって継続した活動が支えられています。今後も駆除作業を続けながら、地域住民や子供たちへサンゴ礁や海の生き物のすばらしさを伝える普及啓発にも力を注いでまいります。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K230	団体名	自然環境復元協会
連絡先 (電話/メール)	info@rangersproject.jp	活動ホームページ (URL)	http://www.narec.or.jp/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	地域の絆を深め 公園や緑地などの身近な自然を保全する活動		
寄附額合計	¥23,457		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・(概要)当協会が実施するレンジャーズプロジェクトでは、地域で活動する環境保全団体の活動現場に、若手を中心としたボランティアを派遣しています。活動団体のお力になるとともに、環境保全活動の初心者に対し活動の機会を提供し、将来の人材育成に資する活動を実施しています。ボランティア登録数:2,496名(平成28年12月末現在)、出勤回数:64回(平成28年1~12月)。</p> <p>・(用途)東京都板橋区にある民間マンションの中庭が森ようになっており、住民の方を中心とした「サンシティ・グリーン・ボランティア」の皆さんが緑地の保全を行っています。今回お預かりしたご寄附23,457円は、緑地の保全活動や自然保護エリアの保全活動に対し、ボランティアの方を派遣する経費として活用させて頂きました。</p> <p>・(効果)7回の活動を実施し、のべ62名の方にご参加いただき、緑のボランティアの新たな担い手の開拓を行いました。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K231	団体名	日本鳥類保護連盟
連絡先 (電話/メール)	03-5378-5691/ichida@jspb.org	活動ホームページ (URL)	http://www.jspb.org/
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	都市における人と野鳥との共生のためプロジェクト(バードピア計画)		
寄附額合計	¥20,157		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当連盟ではイベントとして、都内の公園等で巣箱作り・巣箱架け・巣箱調べを実施しています。組み立てる巣箱のキットは、間伐材を使った当連盟オリジナルですが、頂いた寄附金の¥20,157は、普及啓発事業用に仕入れる費用の一部に充当することで、イベントの参加費を抑えることができました。平成27年夏から平成28年3月にかけて、巣箱作り・巣箱架け・巣箱調べを一貫して行いました。中でも新宿御苑においては、親子対象の巣箱プログラムを実施し、40名が参加しました。また小学生が作った巣箱を超党派の国会議員と一緒に憲政記念館の庭木に架ける活動も毎年行っています。平成28年3月16日の巣箱架けには小学生と議員を合わせて70名が参加しました。自分の架けた巣箱を野鳥が利用したと知ることで、野鳥をより身近に感じることができ、巣立ったあとの巣箱の中を調べることは、野鳥の生態やそれを取り巻く環境について学びきっかけになっています。</p>	

省エネ住宅ポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K250	団体名	エバーラスティング・ネイチャー
連絡先 (電話/メール)	045-432-2358	活動ホームページ (URL)	http://www.elna.or.jp
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	ウミガメ死亡漂着個体から知る海の放射能汚染		
寄附額合計	¥15,457		
事業報告	平成27年度		
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 関東沿岸域において海岸に死亡漂着したウミガメ類の調査を実施しました(平成27年9月～平成28年4月)。ウミガメが漂着した海岸に赴き、測定や解剖を実施することでウミガメに関する生物学的・生態学的知見を収集しました。また、死因究明や放射能分析のための試料採取にも努めました。 (使途) ご寄附いただいた15,457円は、横浜事業所から調査現場までの交通費(高速道路料金約3回分)に充てられました。ウミガメ漂着の情報が入った場合、迅速な対応が求められるため(状態の良い調査個体の確保、近隣住民への腐臭拡散防止のため)、車両による調査現場への移動が不可欠となります。 (効果) 死亡漂着したウミガメ類40個体を調査することができました。ウミガメ試料の放射能分析費用は捻出することはできませんでしたが、今後も継続してウミガメ死亡漂着をモニタリングし、海の放射能汚染を監視する体制整備に取り組んでいきます。</p>	